



# DARK TEMPEST

# U

# ACT-03

© 2004 GUNDOG ENTERTAINMENT

# 不安

人々の負の感情集合体である魔女デボネア  
その存在の消滅により表面上は  
平穏を取り戻したかに見える  
異世界セフィーロ

各所で跋扈する新種の魔物、異常気象、  
治安の回復の遅れから頻発する野盗の横行。  
それら負の遺産は、  
セフィーロの随所に内包されたままだった

使命を果たした後も光・海・風

三人の魔法騎士たちは  
愛着有る異世界のため  
その持つ力を振るい続けた

しかし彼女たち魔法騎士を頭として  
数多の人々の努力をもつてしても、  
セフィーロの大地が負った傷は深く広く

その復興は順調とは  
到底呼びがたいものであった……

# 恐怖

より深い混沌の苗床を欲し、  
そこに生じる負の感情の連鎖を糧として貪欲に欲するその種子は  
己の根をより広く深く世界に巡らす為には大きな障害である  
魔法騎士を無力化すべく邪悪な陥穽を仕掛ける。

# 猜疑

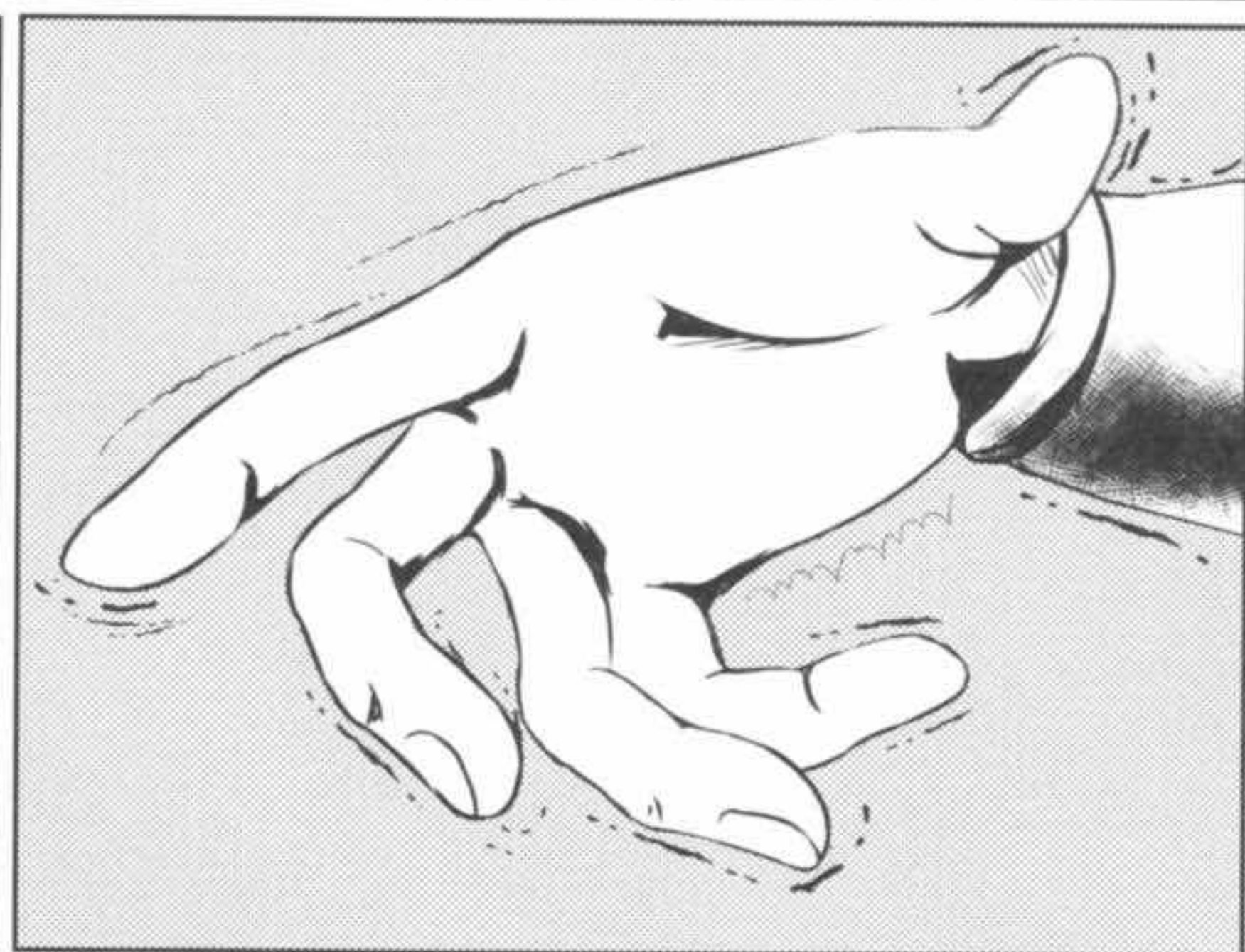
あ彼女達と親しい召喚師アスコットが  
魔法騎士の一人である龍咲海に寄せる特別な好意と  
意識下に潜んだその裏返しである征服欲を利用し、  
その純粋な悪意を核に受肉させた影……  
もう一人のアスコットと呼べる存在である  
「トルネオ」は奸計を用いて海を拉致し、  
かつてデボネアが潜んだセフィーロの裏側、異空間へと連れ去る。

光・風達仲間のマジックナイトとの連絡の術を絶たれ  
魔神セレスの召喚も叶わない異空間で孤立無援の海に襲いかかったのは  
トルネオと復活したと思しき魔導師アルシオーネによる苛烈な触手陵辱と蹂躞だった。  
海を持つ強く崇高な心の芯を恥辱の破壊槌で折り砕き、  
強固な魔法騎士という障壁に穴を穿つべく、  
トルネオは更に深い淫獄の泥沼へ海を引き込む。

# 負の螺旋と 繰り返し


そして  
セフィーロ全土  
を侵食する数多の  
腐毒種子の一つが  
民の不安を糧に  
力を蓄え  
蠢動をはじめた





とす...





これで完全に  
配達完了っつと♪  
くくく!

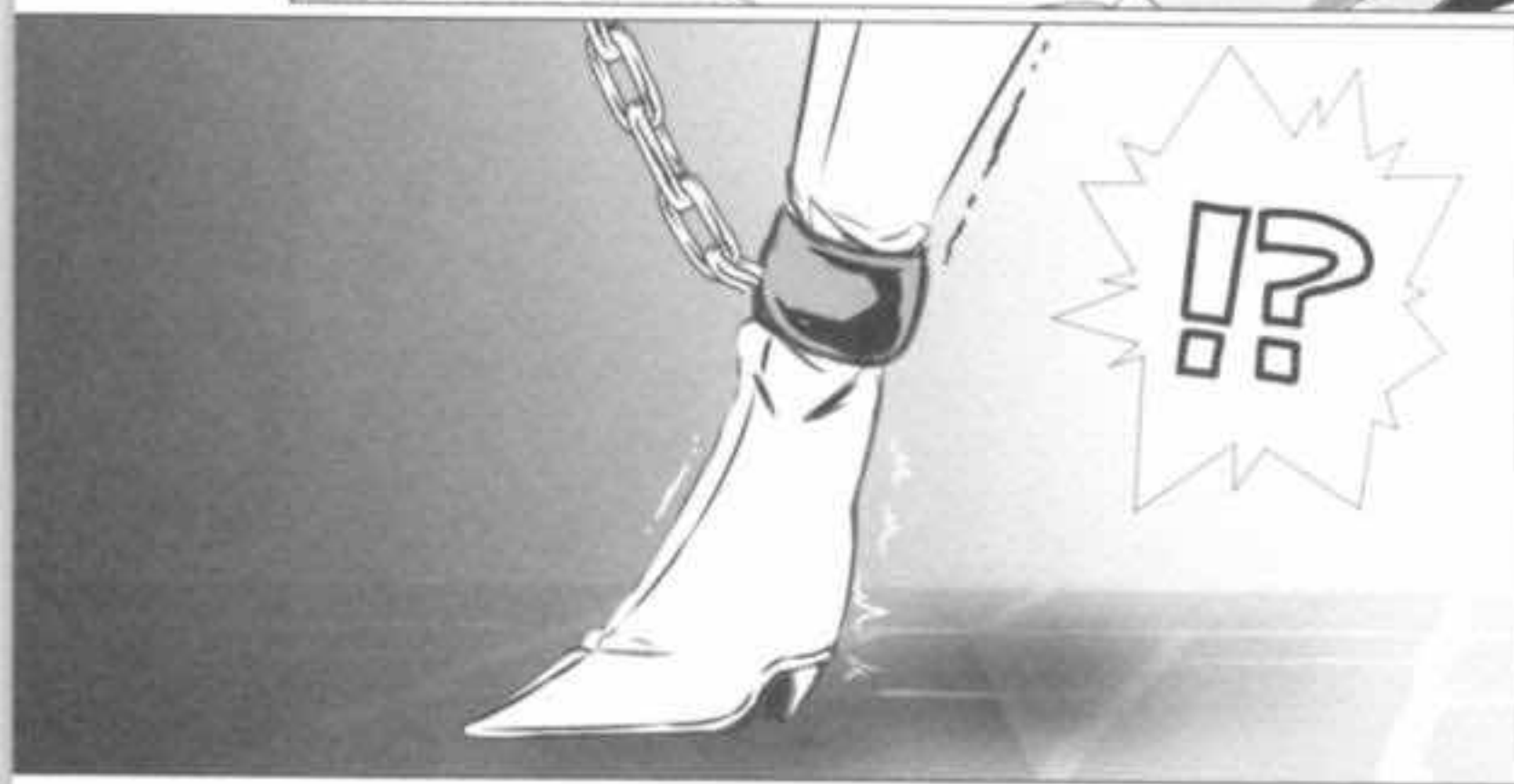
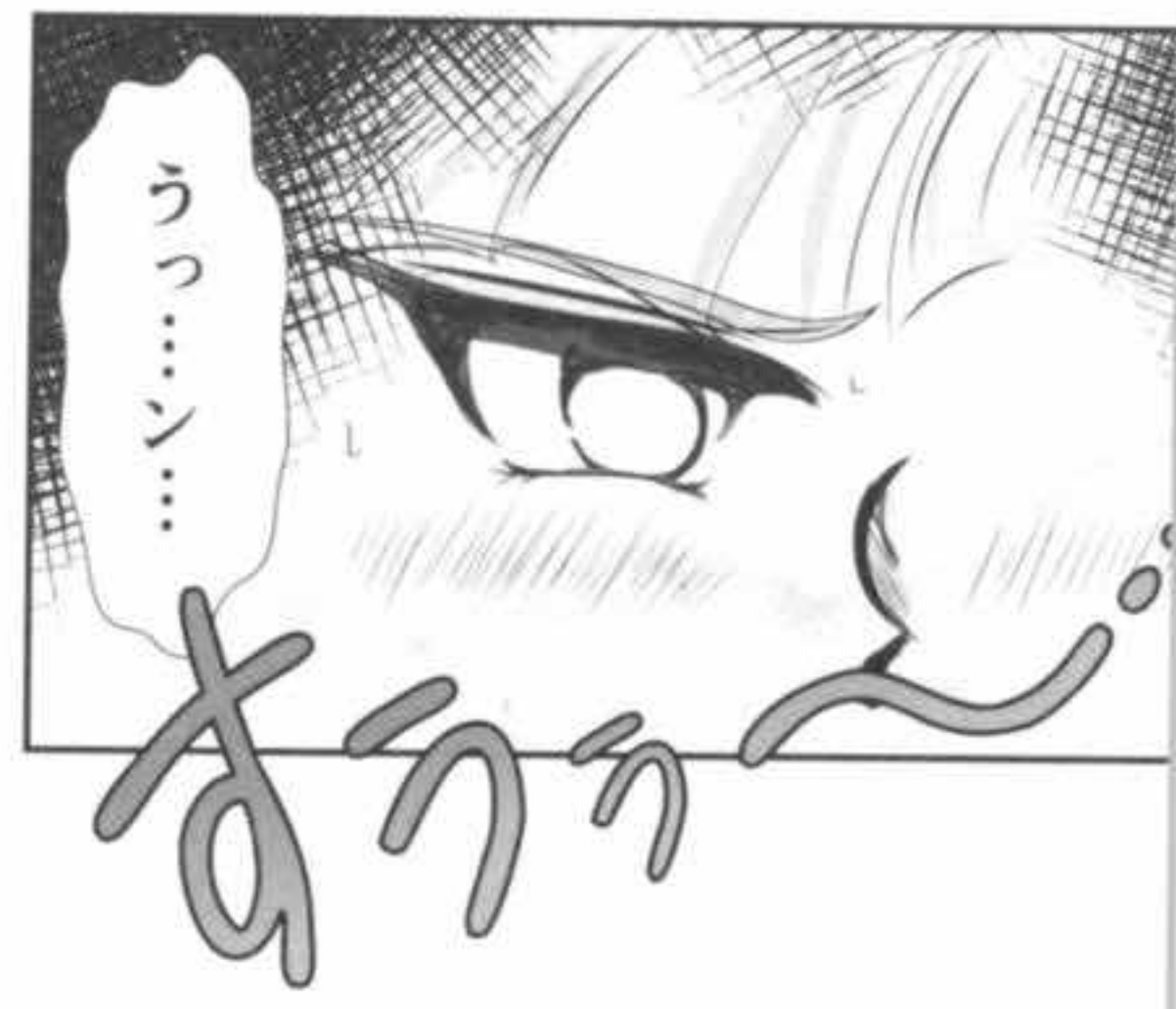
それにしても  
よく効いたよね  
あの薬

フフ  
いい感じだね

だろ?  
あれは  
我が家秘伝の薬さ

**DARK TEMPEST Ü**

ACT-03



おどろきとあはれ



でも、記憶の解封だけで  
これだけ色々な  
魔具使うなんて

また随分と固く  
封印したもんだねえ？



ああ…  
あつ

ウミ達魔法騎士の心の強さは  
油断できないからねえ！  
念には念…さ



な、何っ!?…なんなの…!?  
この頭の中に流れこんでくる…  
おぞましいイメージはっ!?



いっ…  
いやああアアア!?

いっ…  
入れないでっつっ!!

ちゅわん



きゃあああつっつ



ちゅわん



くくっ



あーあ!!

大変だあー  
そんな魔物に  
卵どっさり産み付け  
られちゃったねー  
ウミ♪



やれやれ  
仕方が  
ないよねえー



またまた  
ピンチだね  
ウミ♪

さくて、いったい  
どうなっちゃうのかなー?

この気持ち悪いモノって  
やっぱり、この魔物の卵っ……!



ふ、ふざけないでっ  
お断りだわっ!



ウミの  
コチコチおまんこの  
大ピンチをね

そう、「また」  
ウミを助けてあげるよ



ま、またっ



遠慮しなくても  
いいよお……

ビビッ









びんちゅっ



びんちゅっ

トルネオ  
こいつの穢らわしいモノが  
前につ…入っで…!!



ためええっ

ためええっ



んんん

——わたしの大事なものが…  
大事な部分が…  
汚されて…壊されていく



卵がたゆんで…  
歪んでツブれて  
いくのが…  
気もち…  
イイイイ!!



んんん

全部気持ち悪くて  
嫌なはずなのにっ…!!



気持ち悪い

おっ

ずんずん



負けない

こあッ

ああっ

ガッ  
ガッ

アッ

アッ  
アッ



かほっ

気持ちいい...

もうダメ

ニギハヤヒ

ニギハヤヒ



ほら、  
見せてごらんよ  
ウミ?

あっ!?

あれ?  
あれあれ?



しやがみこんじゃって...  
脚が痺れたのかいウミ?



ウミのブーツの中、  
変な汁で  
グチヨグチヨだねえ...  
ククク!



あらあ…  
どうかしたのかしら？  
水の  
魔法騎士さん

もしかして

がっ!?

ブーツの中がグチヨグチヨで、  
触られたくなかった…とか？  
ホホホッ！

フフ…  
あらあら、お得意の  
へらず口が出てこないわね？  
そんなに強烈だったのかしら？

アハハッ！  
本当だ。  
ゴボゴボ鳴ってるねえ

やっ…！  
手、手をつ離さないっつ！  
はなし…てえ

ゴボゴボ

うっ…  
うううう!!?

あらあらあ  
何かしら?

中でプチプチ潰れているようだけれど?  
ホホホッ!

あ、脚が…!?

脚がとんとん…熱く…なってる!?

フフ…

足首の形も  
すごく綺麗だよねえ  
ウミの  
脚ってさあ〜

……  
!





そ、それにつ…  
中に流し込まれたベトベトもっ!!

外からの締めあげも、  
イボの蠢きも、  
擦り付けられるブーツの内張りも…

あ  
ぐわんぐわん

ぐわん  
ぐわん



ぐわん

ククツ!

何もかもがっ…気持よく…  
感じちやううううう!!?

ぐわん  
ぐわん  
ぐわん



思い出した…!

ぐわん

ぐわん

ぐわん  
ぐわん  
ぐわん

両脚に  
絡みついた  
触手が  
更に気味悪く変化して……

その初めて経験する  
ブヨついた弾力は……



あ……あぁっ！

内側でネバつく汚汁とあいまり  
わたしのブーツの中をあたかも  
淫らな魔物の口内の様に変え……

そして  
わたしは……

わたしの脚から力を削ぎ……  
しびれさせ……





無様に…脚で感じさせられて…!!  
脚に履いた魔法騎士のブーツを淫具に使われて…!!

イカされ…た!



ひっ...!!  
な、何をっ!!

あ  
おま...♡  
いっ

ぶちゅん



あ...  
ああっ...あああああ...



ウヒヒッ!  
聞いてるよお...  
ウミってブーツ履いてる脚を  
悪戯されると感じちゃうん  
だろう?!

なっ!!  
馬鹿なことっ  
云わないでっっっ!!



私の防具がなんだって...

ぼ、防具...??

ウソじゃないさ  
だってこの防具が  
その証拠じゃないかウミ?

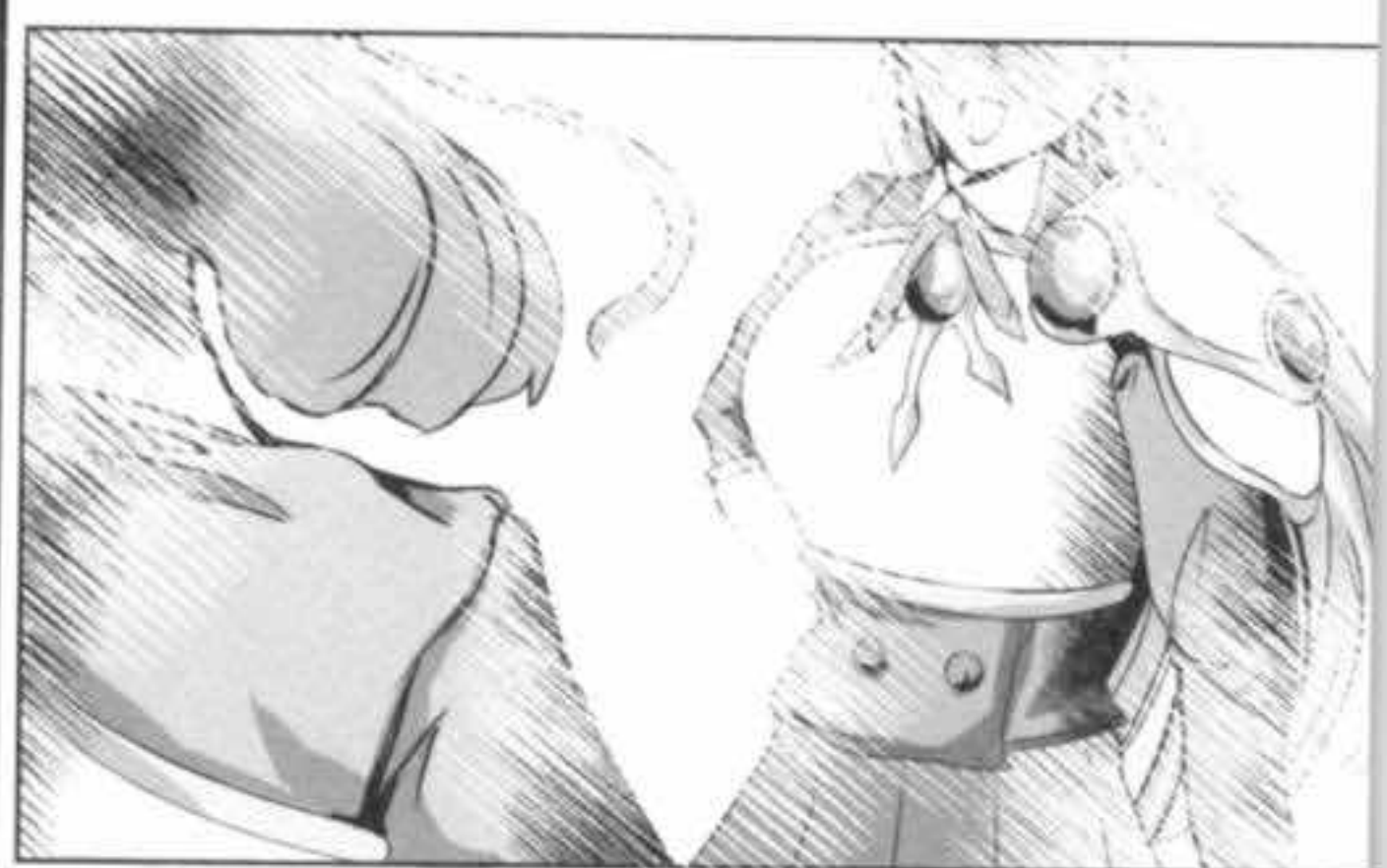


!!



どうして  
気付かなかったの!?

どうして私...  
この防具を...!?



フフ...  
やっと気づいたのかな?  
今のウミがどうして  
その格好なのか、これから  
教えてあげるよ



ビュッッッ...

あれは...私...!?





ハッ  
ハッ  
ハッ

あれあれ〜？

ユッ  
サッ  
ユッ  
サッ

はあ  
あッ  
ああ  
あッ

びい  
びい  
びい

しん  
びい  
びい

ゴクッ  
ゴクッ

何だか反応が  
へんだね〜？

ウミってば、  
そいつの触手なんかより、  
自分のブーツで感じてる？



あら  
本当にそうかしら？



うぐう〜！！

くっ…ああ！！



そ…  
そんな…こと…！！

あるわけ…！！  
な…無いっ…でしよっ！！

スッ  
スッ

おは  
おは  
おは



んんん？  
息が荒くなっ  
てきてるよウミ

はっ…

はああ

ふああ



あ・脚…がっ…!!?

あ…熱い…



あーあーあー

くふふ…  
やっぱりオナホブーツで  
感じまくってるんじゃないか  
ウミ〜？

自分でもわかってるんだろ？

いま何もイレられてないのに  
ウミのおまんこ  
緩みまくってHジュースで  
ビショビショじゃないか♪



ちゅちゅちゅ

んんんんん





あっ…

あああ



クク…  
なるほどねえ〜  
こうなっちゃうワケだ!

ああ、  
いいよ、もうウミを放して



で、この後二人で空中散歩しながら  
彼のところに来た……ってわけ♪

……



わ、私の防具に何をしたの!?

さて何かな?



じゃ、  
ボクらはヤボ用があるんで  
一回失礼するよ

まあ、  
ゆっくりとウミを休ませて  
やってくれよ?  
フフフ……



ホホ……  
じゃあね、  
楽しみなさいな



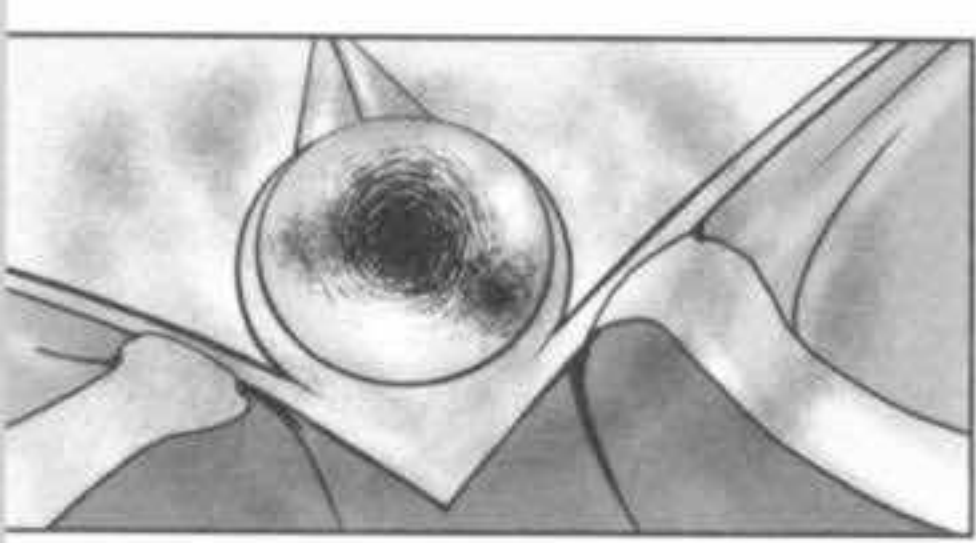
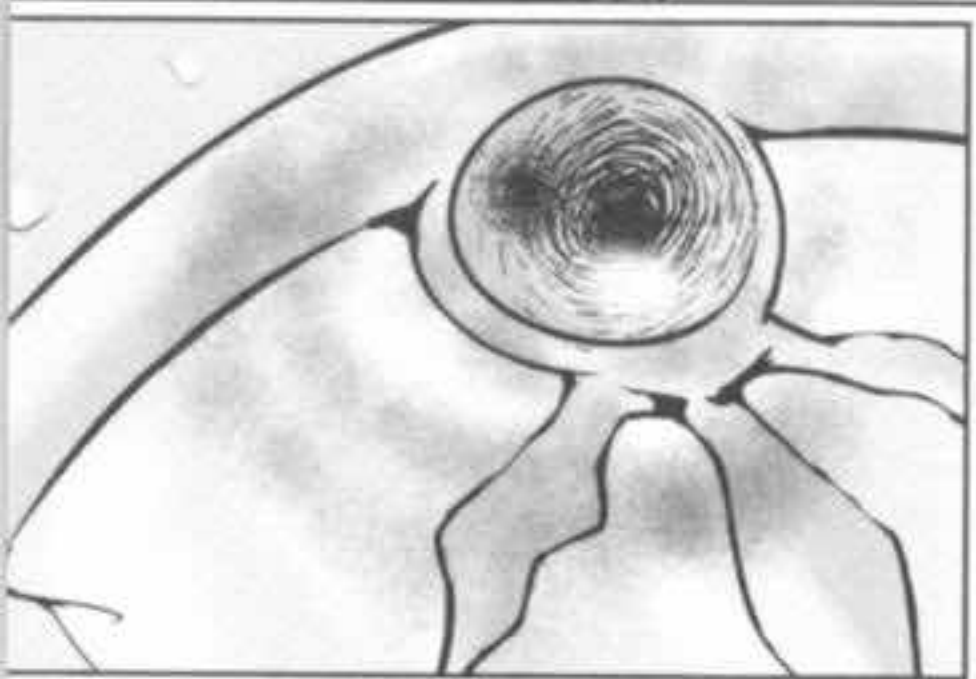
ひひ!  
これでふたりきり  
になったねウミ



MIL  
KIAI  
SBZUPBIAN

Handwritten text in a speech bubble.

Handwritten text in a speech bubble.





2017 SUMMER



# 後書き

疲れた…

でも次に続きます。

次が今ステージ本番です。

まだまだ海ちゃんの苦難は続きます。

PICO様、いつもありがとうございます

m(\_\_)m

## 奥付

### 『DARK TEMPEST U-03』

【発行】 バルクラッシュ

【発行者】 SAD

【発行日】 2016年12月31日

【連絡先】 以下URL内にメールフォームが有ります。

【URL】 <http://launchwindow.sakura.ne.jp/>

【pixiv ID】 1054986

【Twitter ID】 SAD\_LW

【印刷】 PICO (プリンティングイン株式会社) 様 <http://www.pico-net.com/doujinshi/>

*RAF Hawker Tempest Mk I 1942*

#### CAUTION!!

#本作品は成人向けです。18歳未満の方への頒布はお断りさせていただきます。

#本作品の内容はすべてフィクションです。実在の人物、事件、団体等は一切関係ありません。

#本作品の発行によって生じる全ての権利は放棄していません。

#スキャン等によるweb上への無断転載、共有ファイルとしての利用はご遠慮ください。

Copyright SAD All rights reserved

No reproduction or republication without written permission.

BALKLASH.

2016. WINTERS

